

2025年日本国際博覧会  
（略称「大阪・関西万博」）を探求する  
—外国語学部英語学科の  
3年次ゼミナールにおける試み—

2025年3月9日（於：上智大学）  
JACTFL第13回シンポジウム分科会  
神谷 善弘（大阪学院大学）

# 1. ゼミナールの概要

# 1. ゼミナールの概要

- 2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）  
Expo 2025 Osaka, Kansai, Japanは、2025年4月13日（日）～10月13日（月）の184日間、大阪の夢洲（ゆめしま）で開催される。

<https://www.expo2025.or.jp/>

# 1. ゼミナールの概要

- そこで、2024年度大阪学院大学外国語学部英語学科の3年次神谷ゼミナールでは、2025年「大阪・関西万博」を概観した後に、グループ発表・個人発表を通じて、パビリオンを展示する予定の様々な国々の「言語と文化、及び、パビリオン」を探求することにした。

# 1. ゼミナールの概要

- 2024年1月に行われたゼミナール説明会で、担当者は「厳しくて楽しいゼミナール」を目指すこと、積極的な参加姿勢を期待すること、ゼミナールで与えられた役割(発表、司会、記録等)は、責任を持って果たすこと等を強調し、「大阪・関西万博」への客観的な期待や個人的な想いを熱弁した結果、10名の履修者が集まった。

## 2. グループ発表と個人発表

## 2. グループ発表と個人発表

- 第1ターム(4月10日～5月31日)には「ドイツ」「フランス」、第2ターム(6月3日～7月22日)には「スペイン」「イタリア」、第3ターム(10月1日～11月26日)には「中国」「韓国」を取り上げることにし、それぞれグループ5名ずつによる発表と質疑応答を行った。
- 発表はPowerPointで行われたので、その一部を紹介する。(別のスライドで)

## 2. グループ発表と個人発表

- ドイツであれば、ドイツ語の挨拶・感謝表現・自己紹介、ドイツ語が公用語の国々、万博パビリオン、料理、文化、サッカー等についてのプレゼンテーションが行われた。
- 韓国であれば、韓国語の歴史・挨拶・自己紹介、万博パビリオン、観光地、食文化、アイドル、スポーツ等についての発表が行われた。



## 2. グループ発表と個人発表

- 第4ターム(11月27日～1月29日)では、10名が個人発表を行った。ここでは、パビリオンを展示する国々の中から、自分にとって未知の国を選択させた。
- オーストリア、オマーン、カタール、トルクメニスタン、チェコ、デンマーク、バーレーン、ポーランド、ポルトガル、モナコが選ばれた。
- 発表はPowerPointで行われたので、その一部を紹介する。(別のスライドで)

## 2. グループ発表と個人発表

- カタールであれば、アラビア語の文字と挨拶、名所、万博パビリオン等についてのプレゼンテーションが行われた。
- トルクメニスタンであれば、トルクメン語の挨拶・自己紹介、万博パビリオン、名所、衣類・宝石、食文化等についての発表が行われた。

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

- 発表者は、「学生主体型」のゼミナールを展開し、学生「参画型」授業を目指し、企画、実行、伝承により、ゼミ生の意識が高まることを期待している。
- 具体的には、グループ発表や個人発表を行い、2025年「大阪・関西万博」を探求し、知識を広め、認識を深め、意識を高めて行きたいと考えている。

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

- そこで、3年次ゼミナールの終了時に、ゼミ生に「探求する」「知識を広める」「認識を深める」「意識を高める」についての振り返りレポートを書いてもらったので、その内容を報告する。

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

- 探求するに関しては、

「もう少し探求できたのではないか」

「世界にはさまざまな文化が存在することを知った」

「万博には科学技術の発展や文化交流がある」

「日本にはない部分を発見できた」

「万博についての探求心が生まれた」

「万博に参加する国の展示内容を理解できた」

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

「探求する中でさまざまな思惑を知った」

「万博に関わる企業や取り組みを深く知ることができた」

「知らないことだらけだったので面白かった」

「このゼミナールに所属していなければ、万博について調べることもなかったと思う」

等の意見が出されている。

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

- 知識を広めるに関しては、
  - 「授業を受けているうちに、知識が増えていきました」
  - 「発表や質疑応答を通じて、情報を共有できた」
  - 「他の国との違いや同じ所を知ることができました」
  - 「最も印象的だったのは、私たちが普段意識していない、あるいは詳しく知らない国が世界にはたくさん存在するということです」



### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

「万博に興味を持ち、自発的に万博のニュースを見るようになり、より万博の知識を広めることができた」

「万博への知識は大いに広まった」

「探求心とともに知識をつけることができました」

「万博を開催するにあたって、様々な課題が起こっていることを知りました」

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

「自分が訪れたことのあるヨーロッパ諸国だけでなく中東の国々についても知識を深めることができました」

「ニュースで放送している内容など、様々な問題が浮上している中、それぞれのパビリオンの内容について知ることに一番知識を深めることができました」

等の意見が出されている。

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

- 認識を深めるに関しては、

「パビリオンのことや、その国のことなどを認識できた」

「万博が単なるイベントではなく、未来社会の実験場であることを理解できました」

「似ている言語があるということを知りました」

「異文化理解の大切さを知り、万博が国際交流や学びの場であることを認識しました」

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

「各国さまざまなテーマや思いを持ちパビリオン建設に取り組み、開催国である日本はさらにインフラ整備など多額のお金を使っていると感じた」

「ほとんど調べたこともない万博だったが、それが何かを知ることによって、今は国際交流や未来を考える場となっている」

「日本に多くの外国人が訪れることが考えられ、日本への興味を持ち、良い影響をもたらすと認識しました」

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

「チケットを購入してもらうには、日本を含め、世界中の人に魅力を知ってもらう必要があります。そのためには発信力が必要です」

「ネガティブなニュースがかなり多く新聞記事やテレビで取り上げられていることを認識しました」

「自分の住んでいる大阪で開催されることがまず一番嬉しい事だと認識しました」

等の意見が出されている。

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

- 意識を高めるに関しては、
  - 「意識を深める事ができた」
  - 「万博が社会や自分にどんな影響を与えるのかを考えることで、問題意識が芽生えた」
  - 「国の情報を少しでも分かっていたら楽しく観光できると考えました」
  - 「世界の多様な文化や価値観を知ることは、異文化理解を深める大切な機会であると意識しました」

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

「実際に万博に訪れた際、しっかり学んだことを活かしていきたい」

「万博とは異文化交流や国際協力をする非常に各国の国民にとって大切なものだと思うようになった」

「探求や知識をつけることで、興味を持ち、ニュースや記事に目を向けるようになりました」

「発表の際に、どのようすれば全員が意識して、興味を持って発表を聞いてもらえるのかを考えながらしました」

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

「来場するまでにさらに万博について見聞を広めることで、意識を高めていきたい」

「大阪が日本の代表になったという認識で私は感じています。治安がいいマナーがいいという風に思っ貰える環境になるように意識を高めたいと思っています」等の意見が出されている。



### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

- 2025年度の4年次ゼミナールでは、ゼミ生全員とゼミナール担当教員が「大阪・関西万博」を実際に体験し、その経験をゼミナール授業で発表する予定である。
- 第1ターム(4月10日～6月3日)と第2ターム(6月4日～7月23日)に万博をフィールドワークし、その様子を個人発表し、第3ターム(10月1日～11月27日)と第4ターム(11月28日～2月3日)には「大阪・関西万博」を総括的に振り返りたいと考えている。

### 3. ゼミ生の「大阪・関西万博」に対する意識の変化

- そして、2025年度の4年次ゼミナール終了後にも振り返りレポートを書いてもらい、
- 2026年3月8日のJACTFL第14回シンポジウムにおいて、その報告も行いたい。

## 4. 1万人の第九EXPO2025

## 4. 1万人の第九EXPO2025

- 発表者は「1万人の第九EXPO2025」に応募・当選し、開幕日の4月13日に第九の合唱に参加する。
- 参加料 26歳以上 20,500円  
(入場料4,000円＋参加料16,500円)
- 参加形態は個人参加、パートはテノール、レックスクラスは動画である。
- 事前リハーサルが、4月6日に現地で行われる。

- 合唱団は会場内の大屋根リング(南側)とウォータープラザに分かれて整列し、4月13日午前9時の開場と同時にコンサートが開演する。
- 初心者や暗唱に自信のない人は、オリジナル楽譜を持ち込める。
- コンサート終演後は、万博を楽しむ。

<https://www.mbs.jp/daiku-expo/>

ご清聴ありがとうございました！